



円相場が下落 149 円台前半 対ユーロも安い

10 日午前の東京外国為替市場で、円相場は下落した。12 時時点は 1 ドル=149 円 19~21 銭と前日 17 時時点と比べて 64 銭の円安・ドル高だった。米景気はソフトランディング(軟着陸)するとして米金利の先高観が強く、円やユーロなど幅広い通貨に対してドルを買う動きが広がった。輸入企業など国内実需筋による円売り・ドル買い観測も円相場を下押しした。

底堅い雇用情勢を受けて米景気懸念が和らいでいる。米連邦準備理事会(FRB)の大幅利下げ観測が後退したのもあって 9 日に米長期金利が約 2 カ月半ぶりの水準に上昇し、日米の金利差拡大を見込んだ円売り・ドル買いが出た。米株式相場が上値を試しているのも投資家心理を強気に傾け、「低リスク通貨」とされる円の売りを促した。

東京市場では円相場が一時 149 円 32 銭近辺まで下げ幅を広げた。10 日は国内で事業会社の決済が集まりやすい「5・10 日(ごとおび)」にあたり、輸入企業などの円売り・ドル買いが活発だとの観測が相場を下押しした。

もともと、売りが一巡すると円相場は 149 円台前半で膠着感を強めた。10 日は 9 月の米消費者物価指数(CPI)が発表され、市場では FRB の利下げペースに影響するとの見方は多い。9 日のニューヨーク市場では約 2 カ月ぶりの円安・ドル高水準をつけており、米 CPI の結果を見極めたいとして積極的に円相場の下値を探る動きは限られた。

円は対ユーロでも下落し、12 時時点は 1 ユーロ=163 円 25~27 銭と、同 43 銭の円安・ユーロ高だった。欧米の株高を背景に対ユーロでも「低リスク通貨」の円を売る動きが優勢だった。

ユーロは対ドルで下落した。12 時時点は 1 ユーロ=1.0941~42ドルと同 0.0019ドルのユーロ安・ドル高だった。欧州中央銀行(ECB)が 17 日の理事会で利下げを決めるとの観測があり、ユーロ売り・ドル買いが優勢だった。



原油は安値圏で小動き 金は買い優勢

10日午前の国内商品先物市場で、原油は安値圏での小幅な動きとなっている。11時30分時点で中心限月の2025年3月物は前日の清算値に比べ350円安い1キロリットル6万8100円だった。米エネルギー情報局(EIA)が9日発表した週間の米石油在庫統計が市場予想を上回って増加し、原油の需給の緩みを意識した売りが続いた。国内原油先物は8日まで大幅な上昇が続き、節目の7万円を上回る場面もあったため利益確定目的の売りも出ている。

もっとも、米フロリダ州西海岸に上陸したハリケーン「ミルトン」の影響を懸念する見方から日本時間10日午前の取引でニューヨーク原油先物は上昇しており、国内原油先物の下げ幅は限られている。

金は小幅ながら上げ幅を広げている。11時30分時点で中心限月の25年8月物は同25円高い1グラム1万2561円だった。寄り付き時点は同13円高い1万2549円だった。前日まで続落していたため、利益確定を目的とした買いが入っている。日本時間10日夜に9月の米消費者物価指数(CPI)の発表を控え、様子見姿勢も強まっている。



ウメモト インフォメーション



日経新聞

首都高、タイに初の海外子会社 インフラ老朽化対策支援

首都高速道路は、タイの首都バンコクに設立した初の海外子会社「首都高インターナショナル・タイランド」の営業を9月から始めたと発表した。道路などのインフラ整備や維持管理に関し、技術的なコンサルティングや研修を提供する。タイでもインフラの老朽化が始まっており、国内で培ったノウハウを生かす。

バンコクの子会社は6月に設立し、首都高が49%、タイに拠点を置くみずほフィナンシャルグループのMHCBコンサルティングが34%を出資した。これまでもタイに駐在員事務所を置き、専門家を派遣するなど技術協力をしてきたが、現地法人を置くことで協力関係を深める。

タイやその周辺国では、道路インフラの老朽化対策のほか、トンネル建設、高架橋拡幅計画などが進む。現地法人の社長に就任した首都高海外・社会インフラ事業部の新垣博史部長は「タイには高架道路が多くあり、首都高と似ている部分がある。培った経験と技術力を生かしたい」と話している。



倒産にみる運送経営の厳しさ

運送事業者の倒産が増加している。東京商工リサーチによると、今年5月の倒産件数が46件と、前年同月比で119.0%増となったという。3か月連続で前年を上回る状況で推移している。倒産理由は、「物価高」関連倒産が多く、「人手不足」関連倒産、「後継者難」と続く。資本金別では1000万円未満が29件、従業員別では10人未満が31件と、小規模の事業者の倒産が目立つ。業界では現在、燃料高騰をはじめ、人件費などのコストが上昇しており、厳しい経営環境が続いている。

さらに、2024年問題の端緒となった時間外労働の上限規制の適用など、労働時間への規制も加わり、経営環境の改善が必須となっている。

こうした状況を受け、岸田文雄首相が自ら物流の重要性を訴えるなど、国をあげた対策が進められている。運賃転嫁はまだまだ思うように進んでいると言えない状況ではあるものの、運賃が上がったという事業者の声も出てきているのも事実で、一部で改善の兆しも見え始めてはいる。ただ、末端では今も厳しい状況が続いている。小規模事業者の価格転嫁はなかなか進んでいない。

直荷主ではなく、荷主が同業者というところが多く、さらに多重下請け構造の最終事業者として、仕事を請け負っているケースも少なくない。こうした環境が運賃交渉を難しくする要因ともなっている。かつては、厳しくなれば社長自らトラックに乗ればいい、身内で経営するので融通が利くなど、小規模事業者の倒産はむしろ少ないとの指摘もあった。しかし、今回の結果をみると、そんな指摘は当てはまらず、的外れである。裏を返せば、それだけ厳しい環境になってきているのだといえる。

倒産だけでなく、後継者難から今後の見通しを不安視し、廃業を選択する事業者も増えており、今後、淘汰の波が急速に押し寄せてくる可能性も否定できない。業界は確実に変わってきている。



サウジ原油調整金 11月アジア向けAL90 セント上昇

80 銭仕切り押上げ

サウジ原油調整金

11月^{アジア}向けAL90^{セント}上昇 80銭仕切り押し上げ

11月積みサウジアラビア原油公式販売価格のアジア向け調整金が明らかに上がった。主要

サウジアラビア調整金

(単位: ¢/bbl)

	SL	EL	AL	M	H
2023年11月	5.45	3.35	4.00	3.45	1.70
12月	5.45	4.05	4.00	3.35	2.00
2024年1月	4.95	3.55	3.50	2.75	1.70
2月	2.95	1.55	1.50	0.75	-0.30
3月	2.95	1.50	1.50	0.55	-0.30
4月	2.95	1.70	1.70	0.85	0.00
5月	2.95	2.10	2.00	1.35	0.50
6月	3.45	2.80	2.90	2.35	1.60
7月	2.95	2.20	2.40	1.95	1.20
8月	2.75	1.60	1.80	1.25	0.50
9月	2.95	1.70	2.00	1.25	0.50
10月	2.45	1.10	1.30	0.45	-0.50
11月	2.95	2.00	2.20	1.35	0.20

※SL=スーパーライト、EL=エキストラライト、

AL=ライト、M=ミディアム、H=ヘビー

(注)調整金の数値:プラスは割増金、マイナス(-)は割引金

油種のアラビアンライトはドバイ、オマーン原油平均価格に対し2¢20¢の上乗せで、

前月比では90¢上昇する別表参照。

上昇は2ヵ月ぶりで、2¢40¢の上乗せだった7月以来の高値となる。大手元売の慣例では、11月28日改定の仕切価格に反映すると推測される。現時点の市場価格で円換算すると、80銭程度の押し上げ要因になる。

11月積みのアジア向け調整金は、アラビアンライト以外の油種も前月比で上昇する。上げ幅はスーパーライト50¢、エキストラライト90¢、ミディアム90¢、ヘビー70¢。スーパーライトとヘビーは9月以来、そのほかは7月以来の高値。10月積みではヘビーの調整金がドバイ、オマーン平均比でマイナスになったが、11月積みは上乗せに戻る。



週間原油コストの推移

週間原油コストの推移

	期間	原油相場		為替レート(▲は円高)		円建て原油コスト	
		ドル/バレル	前週比	ドル/円	前週比	円/ℓ	前週比
火曜日～ 月曜日	8/27～9/2	79.06	1.47	145.94	▲0.52	72.57	1.10
	9/3～9/9	74.17	▲4.89	145.47	▲0.47	67.86	▲4.71
	9/10～9/16	72.02	▲2.15	143.51	▲1.96	65.00	▲2.86
	9/17～9/23	74.47	2.45	143.20	▲0.31	67.07	2.07
	9/24～9/30	73.93	▲0.54	144.99	1.79	67.42	0.35
	10/1～10/7	75.69	1.76	147.07	2.08	70.01	2.59
水曜日～ 火曜日	8/28～9/3	78.39	0.35	146.40	0.26	72.18	0.45
	9/4～9/10	73.27	▲5.12	144.75	▲1.65	66.70	▲5.48
	9/11～9/17	72.16	▲1.11	142.82	▲1.93	64.82	▲1.88
	9/18～9/24	74.71	2.55	143.94	1.12	67.63	2.81
	9/25～10/1	73.46	▲1.25	145.06	1.12	67.02	▲0.61
	10/2～10/8	77.21	3.75	147.83	2.77	71.79	4.77

※原油はドバイ、オマーン平均、為替レートは三菱UFJ銀行のTTSレート